



インフォメーション



日本蜘蛛学会 第41回大会・総会のお知らせ

2009年度の日本蜘蛛学会大会・総会は宮城学院女子大学(宮城県仙台市)で実施いたします。概要は以下のとおりです。詳細については、後日、あらためてお知らせいたします。以下のHPでも随時情報を更新する予定です。

<http://sites.google.com/site/sendaispider/>

- 会場：宮城学院女子大学
(981-8557 宮城県仙台市青葉区桜ヶ丘9-1-1)
- 日程：2009年8月22日(土)・23日(日)[役員会を21日(金)に開催]
 - ・ 21日(金)
 - 13:00-14:00 編集委員会
 - 14:00-16:00 評議員会
 - 16:00-17:00 自然保護委員会
 - ・ 22日(土)
 - 10:00- 一般講演
 - 13:00- 総会
 - 14:00- 一般講演・シンポジウム(計画中)
 - 18:00- 懇親会
 - ・ 23日(日)
 - 10:00- 一般講演

(上記の時刻は変更されることがあります。また、ポスター発表も予定しています。)

● 宿舎について：今回は、参加者の宿舎について大会準備事務局ではお世話いたしません。各自で、宿舎を確保してくださいようお願いいたします。仙台駅前から大会会場(宮城学院女子大学)まではバス(宮城交通)で約30分です。バス利用の場合、仙台駅周辺に宿舎を確保すると便利です。

● 参加費用：大会費、懇親会費は検討中です。

● 問い合わせ先：

981-8557 宮城県仙台市青葉区桜ヶ丘9-1-1
宮城学院女子大学 一般教育科 生態学研究室
田中一裕

電話 022-2776154 (研究室直通)

電子メール tanaka@mgu.ac.jp

(田中一裕)

第5回日本蜘蛛学会奨励賞

日本蜘蛛学会奨励賞は35歳未満の本会会員で顕著な研究業績を挙げられている方に贈られるもので、2001年(審議の年度としては2000年)からスタートし過去に4名の方が受賞されています。本年(受賞該当者のなかった年があるので、今回が第5回)の日本蜘蛛学会奨励賞は東京大学大学院農学生命科学研究科農学特定研究員の馬場友希さんに決定いたしました。チ

リイソウロウグモの宿主適応に基づく形質の分化機構や、ゴミグモとナガコガネグモの網デザインの適応的意義などに関する質の高い進化生態学的研究が受賞にふさわしいと評価されたものです。

(鶴崎展巨)



同好会情報

ここでは日本各地にあるクモ同好会で発行されている定期刊行物の内容、採集会や講演会(総会・例会)の日程などを紹介する。興味を持たれた方は入会したり、行事に参加されてはいかがでしょうか。

関西クモ研究会(会長:田中穂積)

会報「くものいと」を年2回発行。採集会・研究会例会などを年数回実施。

くものいと 42号(2009年4月26日発行)

田中穂積:大阪府のクモ類

吉田 真・宇都宮大輔・大脇 淳:角間の森の



2008年度関西クモ研究会例会

クモ類

吉田 真:宮崎県綾町のクモ類

中島はる:斉藤慎一郎さんを偲ぶコンサートのこと

榊元敏也:研究トレンド ヒメグモの一種 *Anelosimus studiosus* における社会性の進化 -なぜ高緯度地域で社会性が進化したのか?-

船曳和代:沖縄旅行で見つけたクモ

徳本 洋:ジョロウグモの産卵・出のう時期の長さと言子グモの出現時期

新垣雅美:クモ研究会に入会、そして採集会に参加して

加村隆英:ネコグモ科 Corinnidae ウラシマグモ属およびナンゴクウラシマグモ属

採集会

2009年9月27日(日)

場所は奈良県生駒市を予定

例会は、2009年12月20日(日)に四天王寺高校で実施予定。

入会申し込み

〒567-8502 茨木市西安威2-1-15

追手門学院大学生物学研究室内

関西クモ研究会 Tel 0726-41-9550(加村研) Fax 0726-43-9432(大学教務課)

会費 年1000円

中部蜘蛛懇談会(代表:緒方清人)

会報「蜘蛛」を年1回、「まどい」を年3回発行。採集会を年2~4回。総会・研究会を年1回実施。

蜘蛛 (KUMO) 42 号は 2009 年 8 月発行予定

採集会

6 月 7 日 名古屋市緑区「大高緑地」 担当：緒方清人

9 月 13 日 名古屋市千種区「平和公園」 担当：柴田良成

10 月 4 日 名古屋市守山区「小幡緑地」 担当：村上勝



2008 年度中部蜘蛛総会研究会参加者一同

合同合宿

7 月 25 日(土)から 26 日(日)
名鉄電車本宿駅前午後 1 時集合

宿泊：市営桑谷山荘

申し込み先：緒方清人，杉山時雄，柴田良成

6 月末までに電話かメールで。

参加者には改めて詳細を連絡します。

総会・研究会は 2010 年 2 月 11 日(水)を予定。

入会申し込み他

全般について

〒472-0022 知立市山屋敷町東山 10-6

緒方清人 (代表)

Tel 0566-83-4474

E-mail:neon_kiyotoi@ybb.ne.jp

入会・会費など

〒451-0066 名古屋市西区児玉 1-8-24

柴田良成 (会計)

Tel 052-522-1920

会費

正会員 年 3000 円 (高校生以下 1000 円)

準会員 「まどい」のみ 1000 円

三重クモ談話会 (会長：橋本理市)

会報「しのびぐも」を年 1 回発行。採集会・合宿・例会などを年数回実施。

採集会

2009 年 6 月 27 日(土)，9 月 19 日(土)，11 月 30 日(土)，2 月 1 日(土) 津市白山町一帯

いずれも 10 時近鉄榊原温泉口駅集合。参加希望者は必ず 1 週間前までに事務局に連絡ください。

合同合宿

7 月 25 日(土)から 26 日(日)

名鉄電車本宿駅前午後 1 時集合

宿泊：岡崎市民休養施設「桑谷山荘」

申し込み先：緒方清人，杉山時雄，柴田良成

6 月末までに電話かメールで。

参加者には改めて詳細を連絡します。

しのびぐも 35 号は 2009 年 5 月，36 号は 2010 年 5 月発行の予定

入会申し込み

〒515-0087 三重県松阪市萌木町 7-4

貝發憲治 (事務局)

Tel (Fax) 0598 - 29 - 6427

会費 年 2000 円

東京蜘蛛談話会（会長：新海栄一）

会報「KISHIDAIA」を年 2 回、「談話会通信」
を年 3 回発行。採集会年 4 回・合宿年 1 回・総
会例会などを年 2 回実施。

今年度の採集会は、東京都武蔵五日市市横沢入
里山保全地域で実施します。

2009 年 5 月 10 日（日）、7 月 12 日（日）、10
月 11 日（日）、2 月 14 日（日）

J R 五日市線武蔵増戸駅改札前 午前 10 時集
合。世話人 新井浩司

今年度の合宿は長野県立科町女神湖付近で実施
します。

日程：2009 年 7 月 18 日（土）～7 月 20 日（月）

宿泊：すずらん荘

担当：初芝伸吾

例会は、

11 月下旬に東京環境工科専門学校で実施予定

KISHIDAIA 94 号（2009.2.28 発行）

貞元己良：ハラビロササヒメグモとフタホシヒ
メグモ（香川県の合宿に参加して）



2009 年度東京蜘蛛談話会総会例会時の懇親会

小松 貴：アリの巣に住むクモ，ウスイロウラ
シマグモについて

小関峻徳・加倉井 駿也・児島寛之・池田博明：
チュウガタシロカネグモの生活史

西野真由子：ジョロウグモの越冬卵死亡の危険
因子の分析

相馬なおみ・仲條竜太・長谷川雅美：千葉県白
井市におけるコガネグモの生息環境

DRAGLINES

荘司康治郎：シロオビトリノフンダマシの卵
のう

笹岡文雄：伊豆諸島・八丈島のクモの小記録
仲條竜太：八丈小島のクモ III

笹岡文雄：文献調査による伊豆・小笠原諸島
のトタテグモ類 追補

新海 明・谷川明男：東京蜘蛛談話会 2008 年
度合宿報告香川県高松市塩江温泉と五色台周
辺のクモ

仲條竜太・柊 雅実・中西亜耶：伊豆諸島三宅島
で採集したクモ

仲條竜太・中西亜耶・柊 雅実：伊豆諸島御蔵島
で採集したクモ

馬場友希・新海 明・谷川明男：文献による福岡
県産クモ類目録

笹岡文雄：伊豆諸島・青ヶ島のクモ類

水山栄子・山根尚子・深澤由憲子・久地岡美保・
薄井由美子：土浦市穴塚のクモ

入会申し込み

〒186 - 0002 国立市東 3 - 11 - 18 - 201

（有）エコシス

初芝伸吾 （事務局）

Tel 042 - 501 - 2651

E-mail:hatsushiba-ecosys@h8.dion.ne.jp

会費 年 3800 円（学生 2000 円）

関西クモゼミ

会費などなく誰でも参加できる。

連絡先 吉田 真 077 - 561 - 2660

東京クモゼミ

毎月1回，第1日曜日に千葉県市川市の加藤宅で開催。会費などなく誰でも参加できる。

連絡先 新海 明 0426-79-3728

または，加藤輝代子 047-373-3344

言いたい！聞きたい！



千葉県立中央博物館 クモ・蜘蛛・くも 8本足の糸つむぎ職人 感想文

中西亜耶

4月某日，千葉県立中央博物館で3月7日より開催の企画展「クモ・蜘蛛・くも 8本足の糸つむぎ職人」に行ってきた。この企画展には同じ千葉県内にある東邦大学から，私も含めて数人の学生が展示準備のお手伝いに行かせてもらっていたのだが，完成した展示を見るのはこの日がはじめてである。人はたくさん入っているだろうか，等と準備に関わった立場からの心配も加わり，ドキドキしながら博物館入り口ののぼり旗の下をくぐった。

受付を済ませると，入ってすぐのロビーからさりげなくクモ展の展示が始まっていた。予め常設展示室と企画展示室の場所を知っていて，まっすぐに企画展示室へ向かおうとしていたので，危うく見逃してしまうところだった。ロビーには映像コーナーと顕微鏡コーナー，それに

ミュージアムパーク茨城県自然博物館所蔵の，リアルなヒコナミザトウムシ 30倍拡大模型と段ボール製のジグモの模型があった。顕微鏡は全部で3台あり，実体顕微鏡でクツコムシ科の一種とコヨリムシ科の一種が，光学顕微鏡でコヨリムシ科の一種が見られるようになっていた。調節ねじが動かせないようになっていたので，視力の悪い人間としては目だけでピントを合わせるのに中々難儀したが，クツコムシもコヨリムシも初めて見たので感動した。コヨリムシなどあんなに小さくて，どうやって見つけるのだろうか？ジグモの模型はよくできていたが，隣のリアルなヒコナミザトウムシと比べると，申し訳ないながら「ウン，段ボールだな」と思ってしまった。ただ，しゃがんで下を覗き込んだところ，どうやら腹面も作り込んであるようだったので，床を鏡面にする等で見えるようにしてもよいかと思った。映像コーナーは全編約70分とのことだったが，クモ類の生態映像がとても鮮明に映し出されており，時間的に見てられないのが非常に残念だった。

企画展示室に入ると，奥の方に企画者である萩野康則氏がいらした。ご挨拶しようと思ったが，何やら美人のお姉さんと話し込んでいる。一瞬，見てはいけないものを見てしまったかと思ったが，ほどなくテレビカメラとディレクターらしき人を確認し，取材であることがわかった。視聴できなかったが，翌朝の千葉テレビとのことだった。

部屋に入ってまず目に飛び込んできたのは，鳥取県立博物館所蔵の，毛の生えたイソコモリグモの10倍模型だ。超可愛い。これを見たら，千葉県でも見つけてやろうという観察者が増えるかもしれない。それだけに，模型とともに標本とクモ本体の写真は展示してあったが，巣穴の写真がなかったのは惜しい気がする。



展示の一部

ところで、この日は順路がわからなかった。後から考えればどうやら反対向きに回ってしまったようなのだが、以後回った順に感想を書くことを留意されたい。

イソコモリ展示の後は「クモとつきあうために」、「千葉県のクモ」と続いた。次にはスポット展示の「クモの糸を使った鳥の巣」があり、見た目にも賑やかな「クモグッズ」コーナーがあり、後ろを振り向くと「名前にクモがつく生物」があり、この企画展はクモそのものに注目した展示だけでない点が面白い。クモグッズで展示してあった大きなイワガネグモのぬいぐるみは心底可愛かった。なおこのクモグッズ展示物はほとんどが八幡明彦氏所有のコレクションで、氏の研究者としての興味の広さに改めて感じ入った。

ムツトゲイセキグモ（ネイチャーシネプロ撮影）と珍しいクモ（新井浩司氏撮影）の映像コーナーと、新海明・安藤昭久・谷川明男の3氏による県別クモ類分布図の閲覧コーナーは腰を据えられるようになっており、親子連れや子供が時たま腰掛けては「へえ〜」とか「千葉にもいるんだ！」などと声をあげていた。他にも部屋の各所から子供らの驚きの声などが聞こえてくるが、こういう時にしめしめとほくそ笑み、何となく得意になってしまうのは、もうすっか

りクモの虜である証なのだろう。

さてその奥はいよいよ標本展示のコーナーだ。本展示では「いろいろなクモ 徘徊性 -」「同造網性」「同 地中性」,「大きいクモ・小さいクモ」,「珍しいクモ」と分類されて、部屋の奥半分ぐるりを使い、クモの標本・網の標本・写真パネル等が展示してある。特に液浸標本は160以上あるらしい。これだけ並ぶとまさに壮観だ。関東在住ではお目にかかる機会の少ない北方系や南方系のクモ、そしてヒトエグモやキジロオヒキグモなどのレアなクモもさりげなく展示してあり、見逃せない。世界で2個体しか採集されていないというツメナガオニグモのオス（なんと2個体とも展示されている）と、ワクドツキジグモ、カトウツケオグモ、イセキグモ類などが一度に見られる「珍しいクモ」のコーナーはもちろん必見である。他にもまだまだ採集経験の少ない私にとっては初めて見る標本ばかりで、じっくり見ていたらあっという間に閉館時間が迫ってしまった。

余談だが、実は展示に用いる液浸標本を保存ビンから展示用ビンに移し替える作業は、主に東邦大のお手伝いチームが携わらせていただいた。エタノールによりすっかり関節の固まった標本を整形するのはとても骨の折れる作業であり、またその数日後の気泡を抜く作業においては、気泡は取れてもせっかくの整形が水の泡、という事態がままあった。この度展示してある標本で整形が甘いものが多いのもこういった事情からで、お手伝いした立場としては何ともほろ苦い思いで眺めたが、皆様にはどうか寛大な心でご容赦願いたい。

その後はセアカゴケグモ、カバキコマチグモを紹介した「日本の毒グモ」、オオツチグモ類を展示した「ペットショップのクモ」、それにクモの基本的な生態を解説するコーナーがあり、最

後に見たのは(といっても本来の順路的には最初なのだが)「クモは何のなかま? クモの分類学」というコーナーだ。コーナー内を本来の順路どおりに紹介すると、まず缺角類のなかまとしてウミグモ、カブトガニの実物標本、ウミサソリの化石標本が展示してある。そして蛛形類としてザトウムシ、サソリ、ヒヨケムシ、ウデムシなどの標本と解説が続き、さらにクモ目の中での分類へと順にスケールが縮められていく。クモ展の序章として素晴らしいだけでなく、ウデムシやカニムシなどの純粋にカッコイイ標本の数々に垂涎の思いであった。

さてこのようにビギナーのクモ屋は十分に楽しめたこの企画展だが、萩野氏によると意外に一般の方からのウケもいいそうである。そういえば取材に来ていた千葉テレビの美人キャスターも、一來館者として楽しんでいただろう。このクモ展は幅広い対象者を楽しませることができる企画展といえるだろう。本誌の到着はかなりギリギリかと思うが、会期は5月31日までなので、まだ見に行っていない人はぜひ滑り込みで足を運ぶことをお勧めする。

千葉県立中央博物館

春の展示「クモ・蜘蛛・くも」

・2009年3月7日から5月31日まで。千葉市中央区青葉町(青葉の森公園内)千葉県立中央博物館にて。月曜休館。入場料300円。

9:00~16:00。

・JR千葉駅東口2番乗り場。千葉中央バス「中央博物館」行きで約20分。終点下車。徒歩1分。

・さまざまなクモの実物標本と写真。船曳和代氏による網の標本展示。珍しいクモやクモの親戚たちも紹介する。

・講演会「クモの不思議」(講堂にて)4月29

日(水・祝)13:30~15:30。新海栄一氏。
・観察会「春のクモの観察会」(生態園)5月24日(日)10:00~12:00。谷川明男氏。
・ミュージアムトーク・展示の解説(企画展示室)5月10日、31日いずれも11:00~11:30および14:30~15:00なども実施。

まつだい「農舞台」夏のギャラリー 「クモ 一本の糸から始まる宇宙」

・2009年7月11日から12月20日まで。新潟県十日町市松代 まつだい農舞台ギャラリーにて。月曜休館。10:00~16:30。

・ほくほく線松代駅2番線ホームより連絡通路にて、まつだい農舞台へ。

・多彩なクモの網の造形美を船曳和代さんの標本で紹介。会期中、クモの網の標本作りやギャラリートーク、クモの観察会を実施する予定。

採集情報

日本各地で採集された稀産種や、都道府県初記録、島初記録、南限更新、北限更新など分布上の重要情報について掲載する。これを読み、「私もこんな種類を採集しているぞ」という方はその情報を是非お寄せいただきたい。

ムツトガイセキグモ 大阪府茨木市生保 2008年5月13日 1y 金野 晋・畑守有紀採集同定



ドウシグモ (金野 晋撮影)

ドウシグモ 山口県長門市深川湯本門前大寧寺
2008年5月29日2 金野 晋採集同定

ワクドツキジグモ 奈良県大和郡山市矢田町
2009年1月30日1 松本吏樹郎採集同定,
谷川明男確認

香川県大川郡引田町川股 2003年2月3日1
三谷進採集, 谷川明男同定

シロゴミグモ 奈良県大和郡山市矢田町 2008
年12月15日1y, 2008年2月21日1y
松本吏樹郎採集同定, 谷川明男確認

静岡県磐田市鶴ヶ池 2009年4月29日宮下 直
目撃

コケオニグモ 神奈川県南足柄市矢倉沢 夕日
の滝周辺 35°18'37"N, 139°1'32"E メッ
シュコード (MC): 52397072 2008年5
月10日 成幼不明1個体 佐藤和樹発見,
佐藤岳彦同定

ツシマトリノフダマシ 鳥根県隠岐島町布施
鷲ヶ峰 2006年8月10日1 景山純孝採集
同定.

ヤンバルオニグモ 鹿児島県屋久島 1990年7

月14日1 谷川明男採集同定

コウライハエトリ 徳島県阿南市伊島 2008年
6月6日1 仲條竜太・中西亜耶採集, 植松
いのり同定

(新海 明・谷川明男集約)

遊絲原稿送付先

〒192-0352 八王子市大塚 274-29-603

新海 明まで

E-mail では dp7a-tknw@j.asahi-net.or.jp
(谷川明男)まで

発行は, 年2回(5月, 11月)の予定. 締切
は発行月の前月末日です.

日本蜘蛛学会

入退会は

庶務幹事

奥村 賢一

〒853-0041 長崎県五島市籠淵町408-3

Tel 0959-72-6223

E-mail: coelotes@orchid.plala.or.jp

会費の問い合わせ及〇住所変更は

会計幹事

平松毅久

〒350-0816 埼玉県川越市上戸189-40

スプリングビル2号 棟202号

Tel 042-501-2651

年会費 正会員 7000円(学生は5000円)

郵便振替口座 00970-3-46745

遊絲 第24号

2009年5月25日発行

編集者 新海 明, 谷川明男, 池田博明

発行者 日本蜘蛛学会 会長 鶴崎展巨
